

5/28(水)小論文ガイダンス「感想文」!

3学年は、5/28(水)3,4校時の時間に、第一学習社より講師の森岡厚子先生をお招きして、

「小論文ガイダンス」を実施、小論文や志望理由書の書き方を具体的に教えて頂きました。

以下に、感想をいくつか載せておきます。友達の感想を読んで、視野を広げよう! (あなたのものもあるかも!?)

今まで思っていた小論文の書き方と考え方が「書き換え」られたガイダンスでした!特に、「社会的に」「客観的に」と、今までできている、と思っていたことができていなかったのも、主観的・幼稚な文にならないように、心を改めて頑張ります。

いきなり立場(賛成・反対)を決めない。
⇒ メリットが多いなら、賛成
⇒ デメリットが多いなら、反対
という視点で決める。

志望理由書は、自分がやりたいことだけでなく、社会的な視点も入れて書くことが大切。

説得力を出すために、現代の社会問題の原因やその背景の知識を深めておくことが重要。

自分がしたいことを志望先でどのくらいできるか調べる(シラバスを見る)

自分が学びたいことと社会の関わりについては何も知らないから、ニュースや新聞を読んで自分と学問と社会を関連付けて書くことを意識したい。

小論文はなるべく9割以上、志望理由書はなるべく10割、最後の行のギリギリまで埋めると、熱意が伝わる。

小論文は、書く前にしっかり準備することが大切!1時間のうち、20分くらいは構成メモを考える時間でOK! その時間がとても大切!

誰にでもあてはまることで、とどめない!

小論文や志望理由書は自分の意見だけではダメで、筆者の意見を含めたり、社会への関心も取り入れないといけないことが分かった。読解力や、新聞を読んだ知識を今から付けていきたい。

大学や社会は、個人の自己実現だけでなく、社会に貢献できる人材を求めている。なので、小論文は、社会の出来事を写している新聞やニュースなどから出されることが多い。新聞を毎日読んだり、志望理由の材料を集めたり、今できることをしていきたいなと思いました。

